

# Berlin Report

July 2025

## CONTENTS

- \* Project 1: Café Gentil
- \* Project 2: Manon Brasserie Nouvelle

## 1. Café Gentil

### Project Overview

最近ベルリンの飲食店のインテリアでは、ブルーをキーカラーにした物件が目立つ。中でも「Café Gentil」は、天井と壁を Yves Klein Blue で塗った空間が印象深く、一度訪れたら忘れられない店だ。

フランス語で“優しい”や“素敵な”という意味を持つ Gentil という言葉を店名に掲げた店のオーナー Christophe Collado は、優しい笑顔が魅力的なフランス人。リヨン出身の彼は子どもの頃からデザインに興味がありプロダクトを収集していたそうで、大学では美術史を学び、ヴィンテージ家具店を運営していた。その後ベルリンに移住して、長年思い描いていたカフェをオープンさせた。

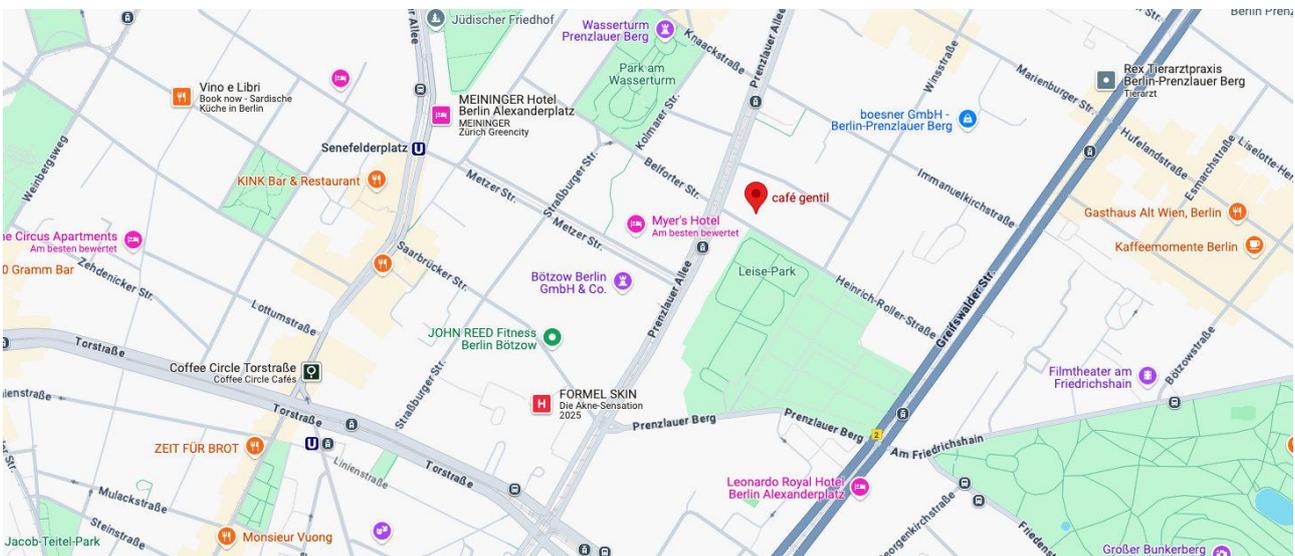
ブルーは食欲を減退させる色と言われ、飲食店では空間全体に使われることは少ない。しかし Christophe は、フランスのコーヒーや食材だけを販売するフランスをテーマにした店を、偉大なフランス人アーティストの色にしたかったのだと言う。明るい色のミッドセンチュリーの家具やポップな小物、植物を数多く配置して、強く深いブルーの空間に温かみと、動きを与えている。

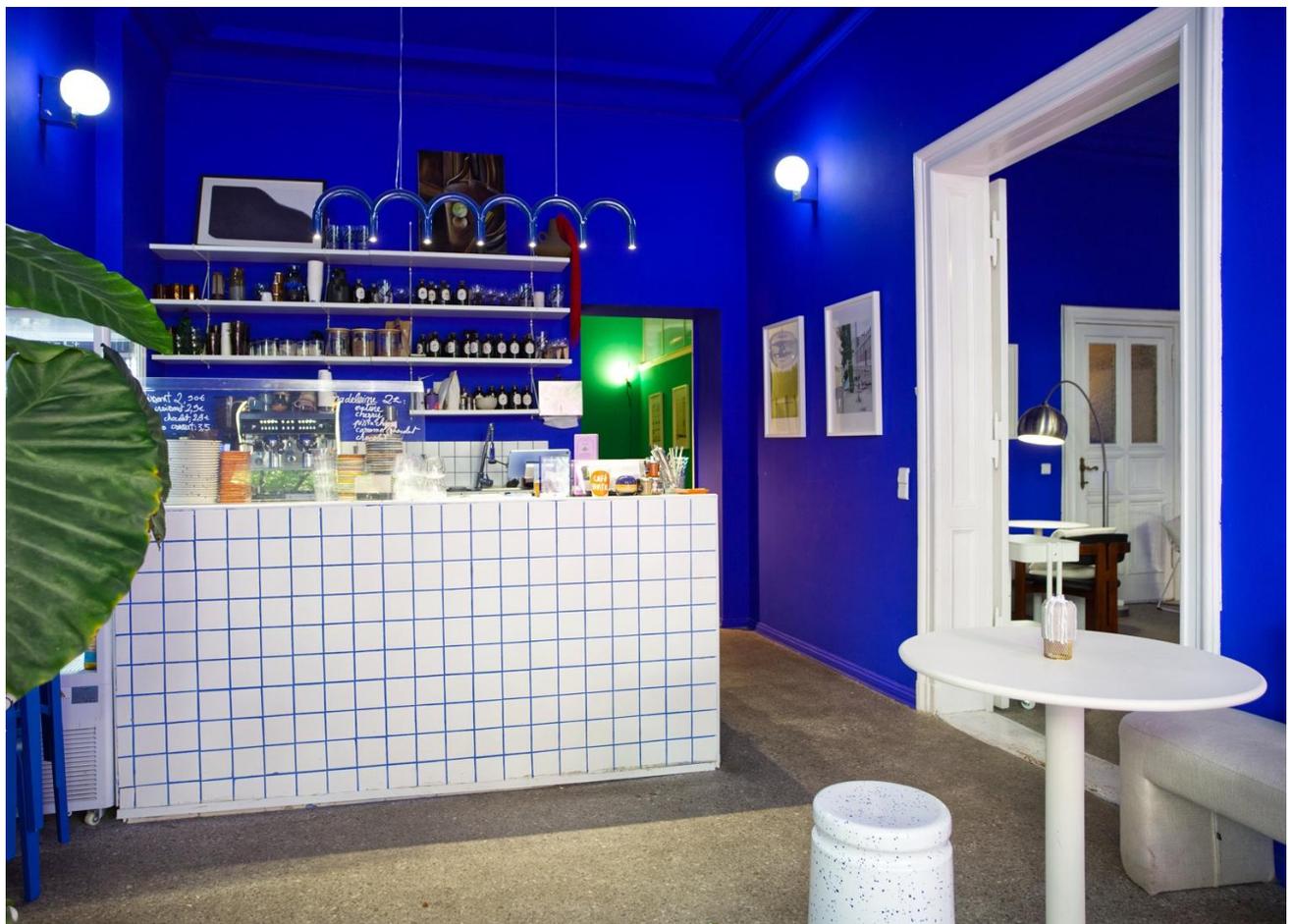
木のパーツの使い込まれた色合いと、背もたれから脚へと続く滑らかな曲線が印象的な 1960 年代イタリアンヴィンテージの椅子に、白いクッションソファ。奥のコワーキングスペースには、格子状に編まれた背もたれがグラフィカルなミッドセンチュリーの金属ツールを置いた。小さな球体のランプや、Markus Johansson デザインの、波形を描くペンダントライトを散りばめてアクセントに。カウンターは白いタイルにブルーの目地がかわいらしい。奥には一つだけグリーン部屋を作り、こちらは壁にミッドセンチュリーのタイルのオブジェを。食器にもあえて色むらのあるぼってりとした陶器を採用。洗練と素朴が同居する不思議な居心地の良さを実現しているのだ。

### Project Details

1. Client: Café Gentil / Christophe Collado
2. Type of Business: Café
3. Open Date: 22.11.2024
4. Location: Heinrich-Roller-Straße 27, 10405 Berlin
5. Size: 100 qm
6. Interiordesign: Inhouse

### Location







上：壁にはリヨン出身の写真家の作品を展示。下右：ピンクのネオン管を看板がわりに。下左：リヨン出身の作家、Séverin Millets のオブジェ。





上：空間の中央に大きな動きのあるグリーンを配置。ともすれば無機質になりそうな空間に生命感を与える。

## 2. Manon Brasserie Nouvelle

### Project Overview

ベルリン市内で数々の人気のアジア系のレストランを経営するシェフ The Duc Ngo。30年近く前にオープンした寿司レストラン「Kuchi」に始まり、ファインダイニング「Shiroi Shiro」、ヒップなインテリアの高級和食店として話題を集める「893 Ryōtei」、本格派のラーメン店「Cocolo」……。ベトナム系のルーツを持つ彼は、ベトナム料理や韓国系のストリートフード店も展開。近年ではベルリンだけでなく、ドイツ各地にも店を開いているが、今年になってフレンチ・ブラッスリー「Manon Brasserie Nouvelle」をオープンし、話題をさらった。

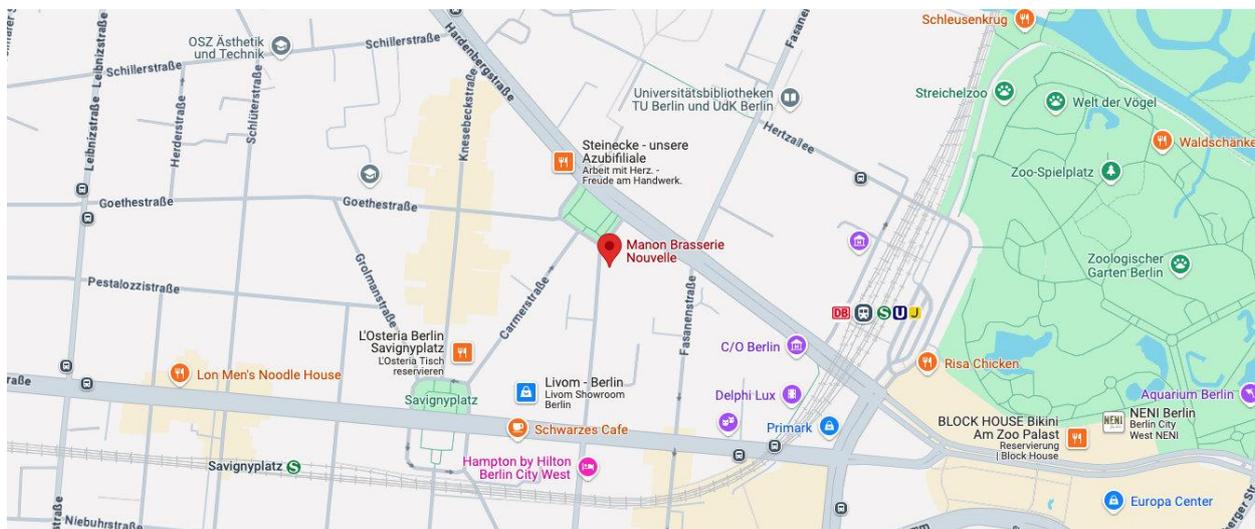
Manon Brasserie Nouvelle は、100年以上の歴史を誇る豪華な5つ星ホテルを改装した「Roomers Berlin」の中にある。ラグジュアリーブランドのブティックが軒を並べる大通りクーダムやオペラ座からも近く、芸術大学の向かいという、独特の空気感を持つ西ベルリンのシャルロテンブルク地区にあるホテルだ。Ngo はここで、あえてアジアではなくエレガントなフレンチビストロ料理を提供しようと考えた。

内装を手掛けたのは Ngo の店を多く手がける Hyunjung Kim。Serge Gainsbourg の曲「マノン」からインスピレーションを受け、愛と憎しみを歌う切ないシャンソンになぞらえた甘く、フェミニンなインテリアに仕上げている。ストーンモザイクの床に、オレンジや赤、ピンクや紫が差し色となった椅子を配置。照明はアールデコ風のペンダントライト、ミッドセンチュリーなテーブルライトなど、丸みのある形で柔らかな光を放つものを選んだ。二人がけの石のテーブルは角を雲型にするなど、シンプルなインテリアの中に、小さな工夫が光っている。

### Project Details

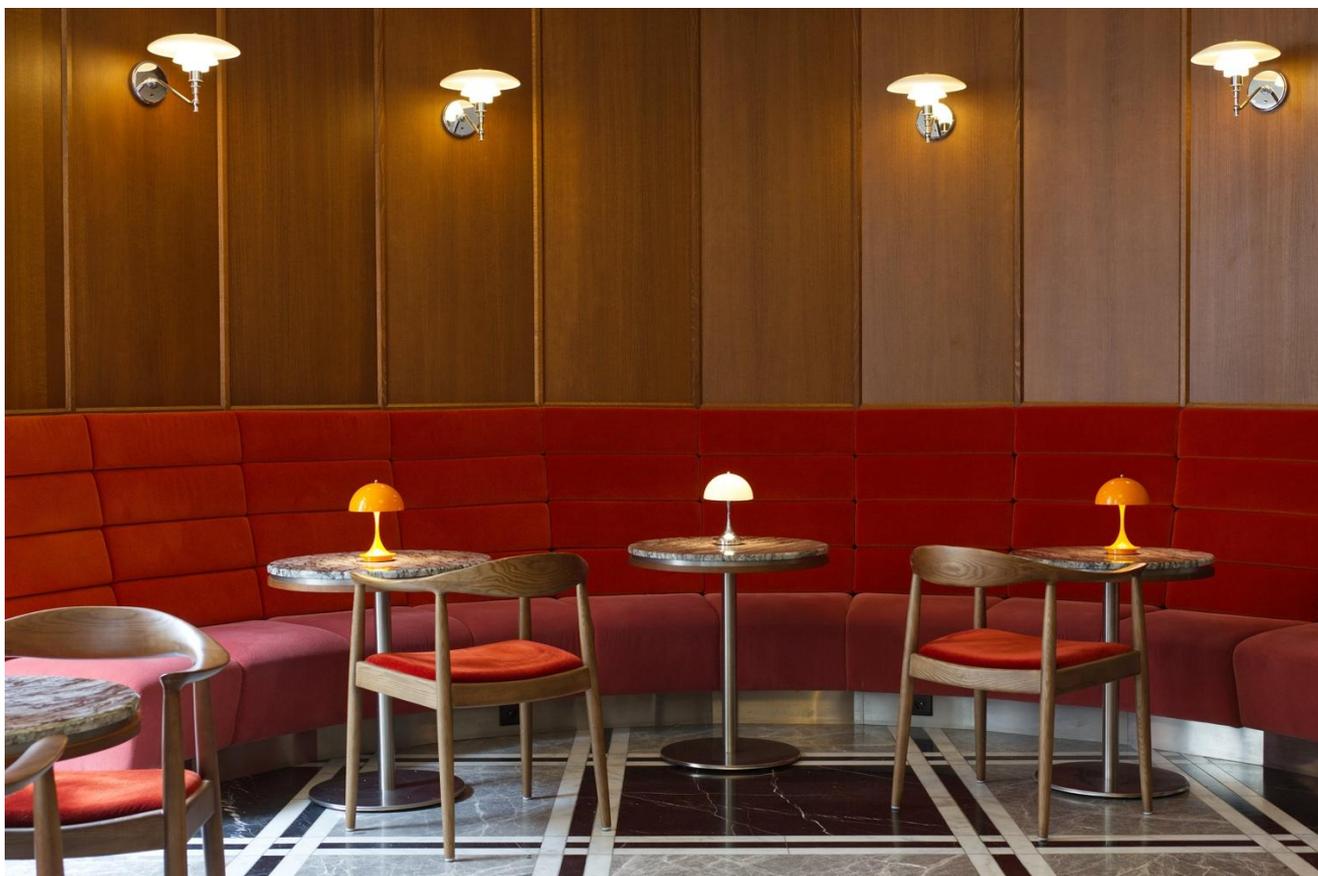
1. Client: The Duc Ngo, Roomers Berlin Steinplatz, Autograph Collection
2. Type of Business: Restaurant
3. Open Date: 06.05.2025
4. Location: Steinplatz 4, 10623 Berlin
5. Size: 200 seats
6. Designer: Hyunjung Kim
7. Website : <https://www.roomers-hotels.com/berlin/eat-and-drink/>

### Location





上：ホテルらしい落ち着いたインテリア。天井の漆喰彫刻などアールデコの名残がある空間に合わせて小物をセレクト。下：バーコーナー。





上：雲型に削った角が面白いテーブル。下右：バー入口は現代的。下左：日本のバーのイメージでレコードプレイヤーが並ぶバーカウンター

